

Coptic Orthodox Patriarchate
His Holiness Pope Tawadros II
Pope of Alexandria and
Patriarch of the See of St. Mark
The Papal Center



بطيركية الأقباط الأرثوذكس
قداسة البابا الأنبا تواضروس الثاني
بابا الأسكندرية
وبطيرك الكرازة المرقسية
المقر البابوي

222 Ramses St., Abbaseya, Cairo, Egypt

Πατριάρχης

222 شارع رمسيس ، العباسية ، القاهرة ، مصر

Tel: 024822580

Fax: 0235365880

email: office@popetawadros.org

تليفون: 024822580 فاكس: 0235365880

Japanese – Resurrection 2024

唯一なる神、父と子と聖霊のみ名によって、アーメン。主の恵みと憐れみが今も、そして永遠に私たちの上にありますように。アーメン。キリストは復活された。実に復活された。愛する皆さん、輝かしい御復活の祭典、おめでとうございます。世界の大陸、アフリカ、アジア、ヨーロッパ、北米、南米、そしてオーストラリア大陸と偉大なる神の都エルサレムにあるすべてのコプト正教会と修道院に祝意を表します。大齋節の聖なる断食の後に祝うこの祝日に、心からお祝いを申し上げます。禁欲的な修行と霊的な生活を含むこの断食で、満たされて、霊的に満足しているでしょう。

復活祭の夜明けとその祝日を迎えるとき、さまざまな場面を思い起こします。その一つが、マリアたちが香料を捧げようとする場面です。しかし、彼女たちは不安を抱いていました。「だれが墓の入り口からあの石を転がしてくれるでしょうか」と話し合っていました。(マルコ 16:3)。この問いはマリアたちだけでなく、私たちの日常生活にも突きつけられています。私たちは一人ひとりの人生の中で多くの課題、多くの状況に直面し、時には石が私たちの人生に顕在化したままになることがあります。この石は罪かもしれないし、怠惰かもしれないし、仕事への過度なこだわりかもしれないし、その人自身かもしれないし、優先順位やその配置かもしれない。「だれが墓の入り口からあの石を転がしてくれるでしょうか」ここでの石は、人にとっての困難を表しています。「誰がそれを動かすのか。」マリアたちが女性であることは明らかです。墓の扉をふさいでいる大きな石の前に立ったとき、それを動かすことは難しかったことが問題でした。

日々の生活の中で、多くの問題に直面します。すなわち、誰がその石を転がしてくれるのか。誰がこの問題を解決してくれるのか。誰がこの困難を取り除いてくれるのか。行き詰まりを開いてくれるのは誰か。金持ちの議員を思いでしてほしいのです。(ルカ 18:18-23) キリストに尋ねたその金持ちの若者は、とても素晴らしい質問をしました。「何をすれば永遠の命を受け継ぐことができるでしょうか」と。素晴らしい質問です。若者は永遠の命を求めていました。キリストが議員に戒めを守るように説明した後、「そういうことはみな、子供の時から守ってきました。」と彼は言いました。イエスは言われました。「あなたに欠けているものがまだ一つある。」一歩前に進むように、何と言われたのでしょうか。「持っている物をすべて売り払い、貧しい人々に分けてやりなさい。そうすれば、天に富を積むことになる。それから、わたしに従いなさい。」その人はこれを聞いて非常に悲しんだ。(ルカ 18:23) 彼の前には石があり、それ

を乗り越えることができませんでした。彼の富が石でした。パリサイ人と徴税人のたとえ話も思い出してください。（ルカ 18：9-14）パリサイ人が祈るために神殿に入ったとき、自分が偉いという独りよがりの気持ちでした。徴税人であった男はどうかというと、彼は義とされました。なぜなら、彼は「ああ、神よ、罪人の私を憐れんでください。」と言ったからです。（ルカ 18:13）誰が私たちのために石を転がしてくれるのか。第二の点は、マリアたちは、その問題に頭が悩まされ困難に直面しながらも、実際は、彼女らには勤勉さと決意があったということです。彼女らは何を实践したかということ、香料を用意し、十字架の木の上で死なれたキリストの体に油を塗るために、夜明け早々に出かけて歩き始めました。（マルコ 16:1）彼女らの心配は、誰が石を転がして取り除くかということでした。この疑問は躊躇させるものではなく、決意に火をつけました。彼女らは揺るぎない希望と、必然は必ず起こると信じる確固たる信念を持って耐え忍びました。使徒聖パウロは素晴らしい聖句を語っています。「怠らず励み、霊に燃えて主に仕えなさい。」（ローマ 12:11）。旧約聖書の箴言集は、「怠け者は狩りで取ったものを焼かない」（箴言 12:27）とあります。これは、ろくに準備もせずに釣り針を持って来て仕掛けたのでは、魚は釣れないという意味です。旧約聖書では、ネヘミヤが捕囚の身であったときの状況が目の前に浮かびます。自国の城壁が壊され、城門が火で焼かれたという知らせがネヘミヤに届きました。王の許しを得た彼は、自分の町（エルサレム）に戻って建て始めようとしたが、何の能力もなかったので、城壁の周囲に住む人々に、各自が自分の家の前にある城壁の一部を補強するようと言いはじめました。（ネヘミヤ記 3:28）。そして、彼らはそのように働き始めました。ネヘミヤは彼らに力強いスローガンを与えました。「天にいます神御自ら、わたしたちにこの工事を成功させてくださる。その僕であるわたしたちは立ち上がって町を再建する。」（ネヘミヤ記 2:20）。つまり、立ち上がって働き、この成功を神からいただくということです。目の前の壁は破壊され、扉は火で焼かれました。おそらくこれと同じ状況が、賢いおとめたちにもあったのでしょう。（マタイ 25:1-13）彼女らは一生懸命働き、油とともし火を用意し、キリストを待っていました。花婿であるキリストがいつ来られるかわからないのに、彼らは起きていました。

石を転がすための最初の一步が困難です。第二段階は、勤勉さと努力です。第三の段階は良い段階であり、動かされた石の段階です。それは、主の御手が働くときです。彼女らは墓に着いて、石が転がされたことが分かった。（マルコ 16:4）彼女らの気持ちを想像してみてください。彼女らの内なる喜びは、問題や困難を象徴していた石がイエス・キリストによって取り除かれ、死者の中から復活したことでした。石が転がされ、墓が空になり、神の御手が働いていることを知りました。ですから、どんな困難に直面しても、主の御手が働いておられることを知るべきです。復活の二日前の金曜日に、十字架の上でイエス・キリストは十字架につけられました。右側には盗人が、左側にはもう一人の盗人がいました。これは全人類を盗人、罪人として表しています。右側の盗人は素晴らしい言葉を口にしました。その結果を期待していなかったでしょう。「主よ、あなたの御国においでになるときは、わたしを思い出してください」と言うと、「今日、あなたは私と一緒に楽園にいる」とイエス様が答えました（ルカ 23:42-43）。キリストが復活されたのは、私たちをキリストと共に復活させるためでした。そのため、困

難や問題に直面したときは、神の御手が働いていることを知り、誠実に努力すれば、信仰と希望によって驚くべき結果がもたらされるでしょう。

この輝かしい祝日にお祝いを申し上げます。大司教、司教、修道司祭、聖職者の皆様、すべての方々にお祝いを申し上げます。助祭長、助祭、奉仕者の皆様にもお祝いを申し上げます。また、あらゆる教会、あらゆる場所のコプト教会のご家族にお祝いを申し上げます。青年の皆様にも、少年少女たちにも、そして子供たちにもお祝いを申し上げます。エジプトの地から、そしてコプト正教会から、カイロのアッバシヤにある聖マルコ大聖堂から、皆様に祝福します。この祝辞を皆様に送ります。 栄光なる復活の活力と喜びに満たされて、祝福された祭日になりますように。私たちは日々の祈りの言葉「光の子らよ、起きよ、万軍の主を賛美するために 」を唱えながら記念して喜びます。 エクリストス アネスティ、アリソース アネスティ。キリストは復活された。 実に復活された。

Pamados II